



ホタル放流会

先日（10月23日）、ホタル池に本校で育てたホタルの幼虫を放流しました。新校舎になって3年目の昨年度、新しいホタル池に初めてホタルの幼虫を放流しましたが、ホタルにとって生育環境が十分でなかったのか、結果的にホタルは育ちませんでした。

今年度は2度目のチャレンジです。九州電力送配電の皆様のご協力もいただきながら、ホタル池をさらにきれいにしての放流です。ホタル委員会の児童が放流する様子を、全校児童が見守りました。本校にホタルが飛び交う日が来るのを祈りながら、今後も、みんなでホタル池を大切にしていきたいと思っています。



つながること

「子供をしっかり成長させたい」これは、全ての大人の願いです。このことを実現させるために必要なことの一つに、子供を取り巻く大人たちが、お互いに「つながること」があります。

まず、保護者の方と担任がつながること。家庭と学校がつながること。

子供は、学校だけで育てることはできません。保護者の方も、自分だけで子供を育てることは、至難の業です。子供の健全育成のためには、家庭と学校それぞれがしっかりと役割と責任を果たすことが必要ですが、やはりお互いにつながることです。そもそも、保護者の皆さんと学校は、子供たちを育てる上での車の両輪です。どちらが欠いてもいけませんし、違う方向を向いていてもいけません。学校では先生がこうしろと言う。家庭ではお家の方がこうしろと別のことを言う。子供への話が学校と家庭で違っていると、子供はどちらに進んでよいのか分からなくなってしまいます。だからこそ、私たちは、よい関係を築くこと、つながることが必要なのです。

つながるのは、「保護者と担任」だけではありません。保護者同士がつながることもとても大切です。特に、同じ学級の保護者の方々が、しっかりつながっている。そんな状況を作り出したい。これは、意識しないとできません。学級懇談会や学年レクリエーションなどが絶好の機会です。ぜひ、そんな時に、周りの知らない保護者の方に、意識して話しかけてください。子供は、周囲や環境からとても影響を受けます。保護者同士が仲良くなって、自分の子だけでなく、よその子にも声をかける。そ

んな状況を作り出すと、子供の健全育成につながります。

家庭と学校がつながる、保護者同士がつながるためにつくられている組織があります。それがPTAです。今、巷ではPTAの在り方がよく話題になりますが、PTAは学校と保護者、保護者同士がつながり、子供たちを健全に育成するために必要な組織です。コロナが明けた今、PTA活動をさらに活性化させるために、知恵と力を出し合わねばなりません。



にぎわう ホタル室



縦割り遊び

1 1月の行事予定

- | | | |
|-----|--------|-----------------------|
| 11月 | 1日(金) | 委員会活動 |
| | 5日(火) | 全校集会 音楽集会 |
| | 13日(水) | 小音会(午後 4年出場) |
| | 18日(月) | 授業参観・学級懇談会(1・2年) |
| | 19日(火) | 特別支援学級中央ブロック交歓会 |
| | 20日(水) | 授業参観・学級懇談会(5・6年) |
| | 22日(金) | きれいなまちづくり運動(育成協主催 5年) |
| | 25日(月) | 授業参観・学級懇談会(3・4年) |
| | 26日(火) | 音楽集会 |
| | 27日(水) | 社会科見学(3年) |
| | 29日(金) | スクールコンサート |